



俳

Hai

その歴史と同発祥



句

ku

2022年 1月27日 | 木 | — 4月24日 | 日 |

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 第2・4月曜日 (祝日の場合は翌日)

観覧料 一般200円(150円)・小中学生50円(30円)

* () は20名以上の団体料金

* 障がい者手帳をお持ちの方とその介助者は半額

※開催に関する最新情報は、ホームページをご覧ください、お電話にてご確認ください。

※ご来館の際は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

●電車
都営新宿線・大江戸線
森下駅A1出口徒歩7分
* A3出口にエレベーターがあります(徒歩7分)

●都営バス
「錦11」築地駅前行き
新大橋徒歩3分
「門33」亀戸駅前行き
高橋徒歩5分
「秋26」葛西駅前行き
清澄一丁目徒歩8分

ミュージアムトーク

展示の見どころを職員が解説します

[日時] 2022年2月13日(日)・3月13日(日)・4月10日(日)14:00~

[会場] 2階展示室 [参加費] 観覧料のみでご参加いただけます

[申込方法] 電話・窓口で (先着順)

公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団

江東区芭蕉記念館

HPはこちら



〒135-0006 東京都江東区常盤1-6-3

TEL 03-3631-1448 FAX 03-3634-0986

<https://www.kcf.or.jp/basho/>



KOTO city in TOKYO
スポーツ文化が熱いまち 江東区

主な展示内容

1. 俳句の歴史

日本伝統の和歌の世界から松尾芭蕉・与謝蕪村・小林一茶ら江戸時代の俳諧、正岡子規による俳句の近代化と、焦土の江東を詠んだ石田波郷ら戦後俳句までを概観します。

2. これからの俳句

ユネスコ無形文化遺産登録を目指す現代の俳句について、こどもの俳句、俳句の国際化、ネット句会、AI俳句などを紹介します。

3. 芭蕉を描く

松尾芭蕉、「おくのほそ道」をモチーフにした沖山潤さん・大西みつぐさんらの美術作品を展示します。

Hai 俳句 ku その歴史と回響性



1



2



3



4

1 沖山潤画「草の戸も」（芭蕉庵史跡展望庭園）、2 加舎白雄肖像（『俳諧百家仙』）

3 小林一茶「うまさうな」句短冊、4 白鷗画・溪斎賛「こよひ誰」句 芭蕉坐像図

関連イベントの情報は公式HPやSNSで随時更新中

記念館HP



Facebook Instagram



Twitter



YouTube

芭蕉深川チャンネル



芭蕉庵史跡展望庭園のご案内

隅田川と小名木川に隣接し、芭蕉像や水辺の風景が楽しめます。

* 芭蕉記念館より徒歩3分
(江東区常盤1-1-3)

【開館時間】9:15~16:30

【休園日】第2・4月曜日

(祝日の場合は翌日)



常設展示室のご案内

3階の常設展示室では、松尾芭蕉と深川についてパネルや資料などでわかりやすく紹介しています。

2階には、大正6年(1917)に発見された「芭蕉遺愛の石の蛙(伝)」を展示しています。

